

令和 6 年度

千歳市水道事業経営計画進捗管理の報告について

千歳市水道局

目次

1. 千歳市水道事業経営計画の進捗管理（モニタリング）について.....	1
2. 3つの戦略の取組状況について.....	2
【戦略1】 財務・資産及び業務戦略	2
(1) 経営基盤の強化	2
(2) 持続可能なサービス提供のための水道料金の設定	4
(3) 老朽化施設の重要度・優先度を踏まえた施設更新	4
(4) 水道施設の適切な維持管理	5
(5) 重要給水施設への配水の確保	5
(6) 水道施設の強靱化	6
(7) 危機管理体制の向上	6
<特記事項>	7
(1) 次世代半導体関連工事事業	7
【戦略2】 組織・人材戦略	8
(1) 安定した水道サービスを提供するための職員態勢の確立.....	8
(2) 広域連携の推進	8
(3) 職員の技術力向上	9
【戦略3】 広報戦略.....	10
(1) 情報発信の充実	10
(2) 情報提供のための「水道情報館」の活用	11
(3) 水道サービスの充実	11
3. 投資試算について.....	12
(1) 水道施設更新事業	12
(2) 重要給水施設配水管整備事業	13
(3) その他事業.....	14
(4) 次世代半導体関連工事事業（経営計画策定後の新規事業）	14
4. 投資・財政計画	16
(1) 収益的収支.....	16
(2) 資本的収支.....	17
5. 総括	18

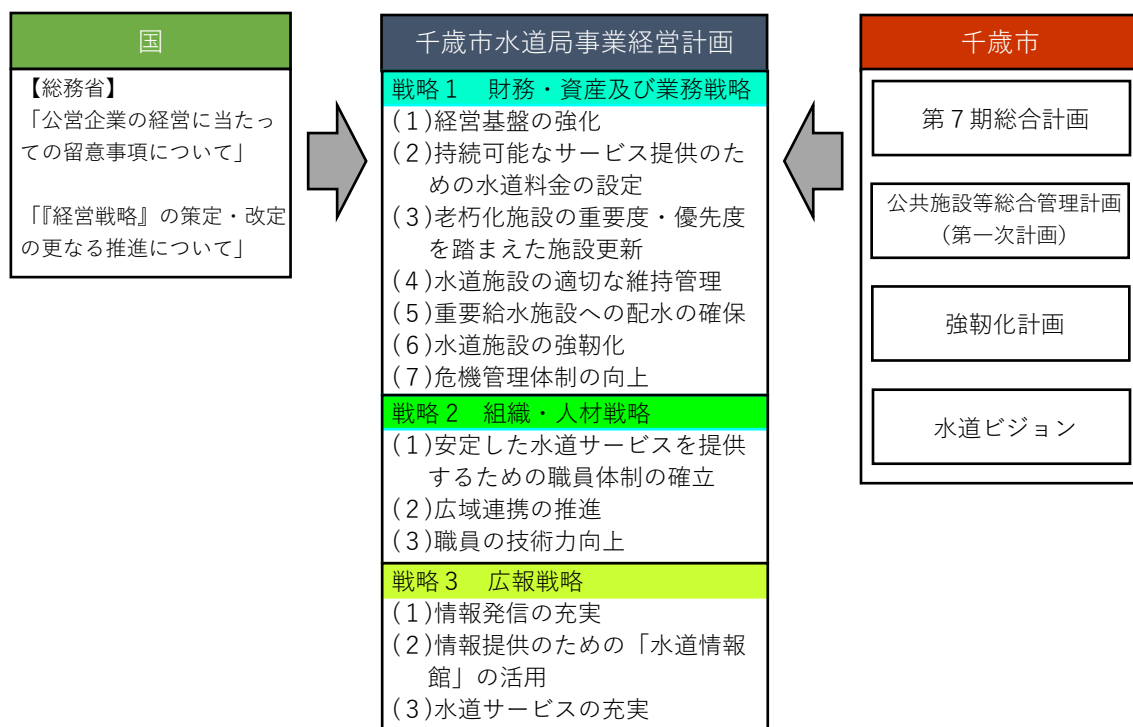
1. 千歳市水道事業経営計画の進捗管理（モニタリング）について

千歳市水道事業経営計画は、千歳市のまちづくりの最上位計画である「第7期総合計画」のもと、令和4年3月に策定した令和4年度から令和13年度までの10年間の計画期間とする水道事業における中長期的な経営の基本計画です。

経営計画の策定後は、経営基盤を強化し、持続可能な事業運営を行うため、PDCAサイクルを活用し、毎年度の進捗管理（モニタリング）や5年を目途に見直し（ローリング）を行うことにより継続的な改善を図ることとしています。

令和6年度の決算について、経営計画に掲げた3つの戦略「財務・資産及び業務戦略」、「組織・人材戦略」及び「広報戦略」における各施策の取組状況や経営比較分析表を用いた経営指標における目標達成状況の把握や投資・財政計画（収支計画）との比較検証を行い、経営状況を評価・分析して、経営計画の進捗管理（モニタリング）を行いましたので報告します。

《千歳市水道事業経営計画と位置付け》



2. 3つの戦略の取組状況について

【戦略1】 財務・資産及び業務戦略

財務・資産及び業務戦略に掲げた施策の取組状況については、支笏湖及び空港等検針困難地区でのスマートメーターによる検針の継続や水道施設台帳システムの管理を行うためにタブレット端末を導入するなど、業務の効率化や省力化を行い、安定的な事業運営に努めました。

また、蘭越浄水場における送水管や東千歳送水ポンプ場に設置しているポンプ設備の更新を行ったほか、管路の適切な維持管理により、良質な水の安定供給に努めました。

さらに、重要給水施設である防災拠点、医療機関、指定避難所等への配水管を耐震化する重要給水施設配水管整備事業を実施するとともに、給水袋や給水タンク等の災害応急対策用品などを計画的に購入し、災害が生じた場合でも給水を継続するための事業を推進しました。

令和6年度に予定していた水道料金の引上げを見送ったことから、給水収益は計画値を下回り、修繕費などの費用については、物価高騰の影響を受け増加しているものの、経営基盤強化の関連指標である経常収支比率・料金回収率・施設利用率については、上昇を続けていますが、千歳市水道事業経営計画に記載している各事業の取組状況については、人件費や物価高騰の影響により、予定していた事業量が実施できていないため遅れが生じています。

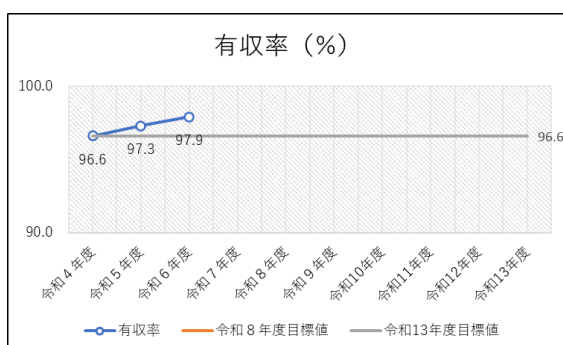
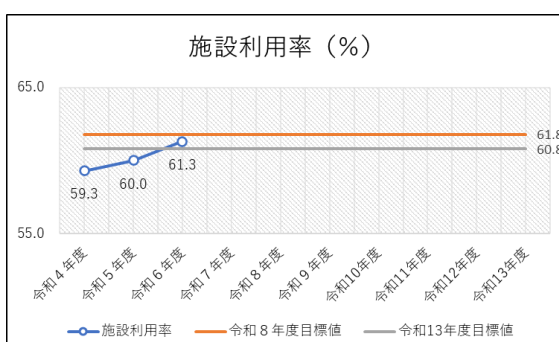
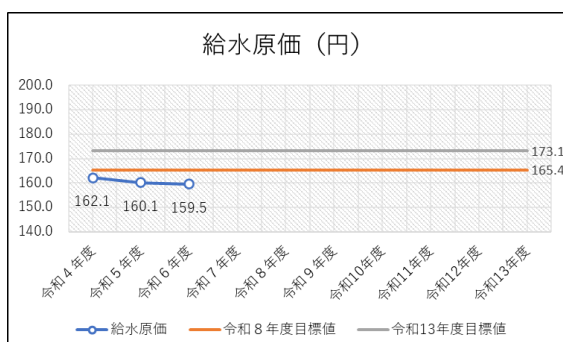
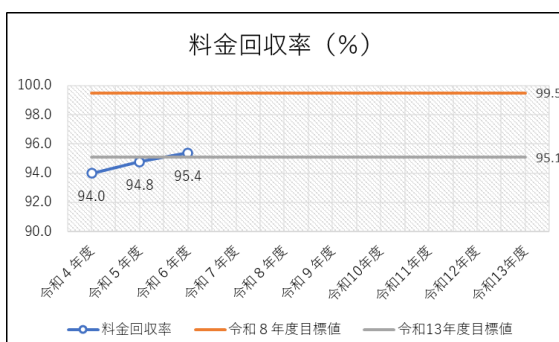
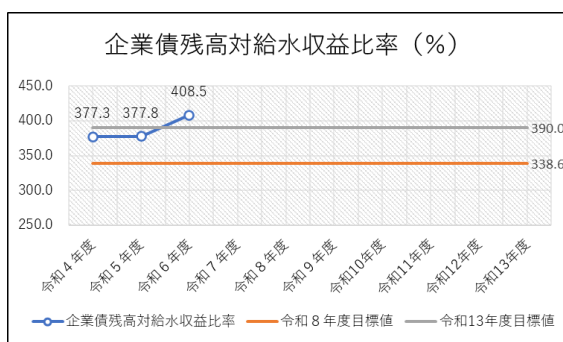
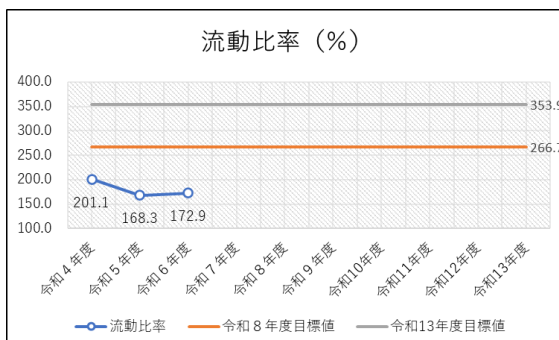
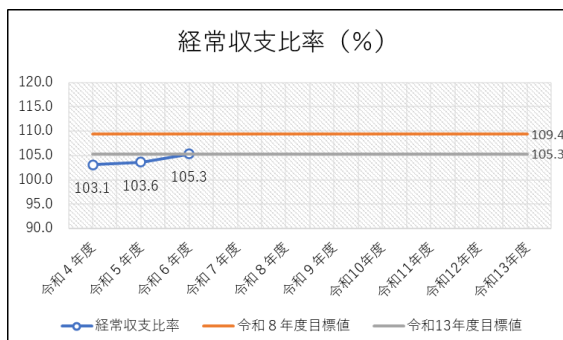
なお、ラピダス株式会社の立地に伴い、新たに令和5年度から美々地区外水道管整備を実施しています。

(1) 経営基盤の強化

	指標名	単位	令和2 実績値	令和6 実績値①	令和8までの目標達成 率（(①/②）＊100）	令和8 目標値②	令和13 目標値	達成基準
関 連 指 標	経常収支比率	%	109.1	105.3	96.3%	109.4	105.3	100%以上
	流動比率	%	263.1	172.9	64.8%	266.7	353.9	200%以上
	企業債残高対給 水収益比率	%	402.4	408.5	120.6%	338.6	390.0	↘
	料金回収率	%	95.0	95.4	95.9%	99.5	95.1	↗
	給水原価	円	159.3	159.5	96.4%	165.4	173.1	経年比較や類似 団体との比較に よる把握分析
	施設利用率	%	59.6	61.3	99.2%	61.8	60.8	↗
	有収率	%	96.5	97.9	101.3%	96.6	96.6	↗

◆達成基準は、数値を上げていくことが目標の場合は「↗」、数値を下げていくことが目標の場合は「↘」を掲載しています。（以下、同じ。）

経営基盤強化に関する指標の推移

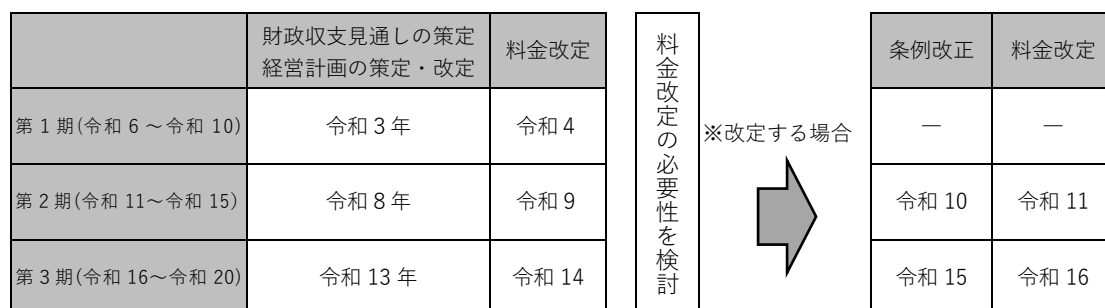


(2) 持続可能なサービス提供のための水道料金の設定

水道料金の改定については、令和6年4月に9%の引上げを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や物価高騰などによる市民や事業者の負担が続いていたことや、水道事業会計における令和3年度の決算状況などを踏まえ、水道料金の引上げを取り止めました。

また、今後の水道料金の改定方針として、5年ごとの各料金算定期間において、10年間の財政収支見通しを策定した上で、料金水準の検証と料金改定の検討を行うこととしました。

次回は、令和8年度に財政収支見通しを作成し、令和9年度に第2期料金算定期間(令和11年度から令和15年度まで)の料金算定を行い、水道事業会計の経営状況や社会情勢などを踏まえて、料金改定について検討を行います。



※第3期以降も5年ごとに【財政収支見通し・料金改定・改定検討】を繰り返します。

(3) 老朽化施設の重要度・優先度を踏まえた施設更新

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計		
			うち令和6年度計画値	うち令和6年度実績値
水道施設更新事業	4,055,833	896,902	290,921	205,345
<事業概要> 水道施設の更新時期を迎えるに当たり、中長期的な視点で施設全体の老朽化の進行などを把握しながら、重要度・優先度を踏まえて施設更新を進め、アセットマネジメントを活用し、施設の改築・再構築に向けた検討を行う。			令和6年度の主な取組内容 ・東千歳送水ポンプ、黒沢増圧ポンプ更新 ・水位計更新（7台）	
事業期間	令和4年度～令和13年度			
進捗状況	・人件費や原材料費の高騰による事業費の増加と蘭越送水管更新工事の想定以上の工事費増加などにより、当初計画していた蘭越浄水場の薬液注入ポンプ設備の更新や管理本館の電源装置盤の更新、泉沢送水ポンプ場の操作盤の更新など（計画値 87,800 千円）が令和7年度以降の実施に変更となっている。			

(4) 水道施設の適切な維持管理

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計		
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
水道施設維持管理業務	2,4 1 7,8 8 0	7 6 6,2 1 5	2 2 3,5 4 3	2 7 0,9 0 3
< 事業概要 > 取水から配水施設に至る全ての水道施設の維持・修繕を計画的に実施するとともに、施設情報の共有、更新需要・財政収支見通しなどの検討を効率的に進めるための環境整備を図る。			令和 6 年度の主な取組内容 ・水道施設に係る運転管理 ・水道管に係る維持管理	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・水道施設に係る維持管理について、各種委託は計画どおり進んでいるものの、修繕については、人件費や電気料金などの費用が上昇している影響や、緊急的に必要になった修繕を優先して実施したことから、計画していた修繕を後年度に先送りしている。 ・水道管に係る維持管理について、現在は適切に実施できているが、今後さらに労務単価等が上昇した場合には、委託費及び修繕費が益々上昇するため、事業費の増加が想定される。			

※労務単価・物価上昇に伴う委託費・修繕費が増加したことから、実績値が計画値を上回ることとなりました。

(5) 重要給水施設への配水の確保

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計		
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
重要給水施設配水管整備事業	3,272,407	993,469	378,595	299,002
<事業概要> 地震災害時において給水優先度の高い指定避難所・医療機関・防災拠点などの重要給水施設への給水を維持するための水道管の耐震化を行う。			令和 6 年度の主な取組内容 ・重要給水施設配水管整備 令和 6 年度実施分：Φ75～400、L=659.49m	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・令和 6 年度実績で目標値 73.7%に対し、実績 75.8%を達成できており順調に進んでいるが、人件費や原材料費の高騰、週休 2 日制の導入等により、工事費が顕著に増加し続けていることから、次年度以降も事業費の増加が想定される。			

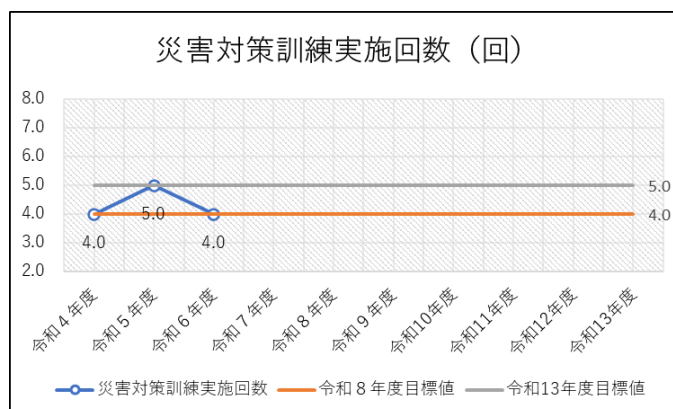
(6) 水道施設の強靱化

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計	令和6年度実績	
			うち令和6年度計画値	うち令和6年度実績値
蘭越浄水場浸水対策事業	106,440	10,560	75,000	0
千歳川原水バイパス管整備事業	280,084	0	0	0
<事業概要> 豪雨災害や地震災害発生時においても、水道水の供給が停止することがないよう浄水場における浸水対策及び千歳川原水バイパス管の整備を行う。			令和6年度の主な取組内容 ・実施事業なし	
事業期間	浸水対策：令和4年度～令和6年度 バイパス管：令和12年度～令和13年度			
進捗状況	・令和4年度に基本計画を策定したが、浸水対策事業を進めるに当たり、護岸整備を先に行う必要があることが明らかとなった。このため、令和5～6年度に計画していた実施設計及び工事を中止して、河川管理者に対して河川整備計画の見直しと護岸整備の要望を行った。今後についても要望を継続していく予定であり、当面の間、浸水対策事業は中断することとなる。 ・千歳川原水バイパス管整備事業については、令和12年度から実施予定としている。			

(7) 危機管理体制の向上

関連指標	指標名	単位	令和2 実績値	令和6 実績値①	令和8までの目標達成 率 (①/②*100)	令和8 目標値②	令和13 目標値	達成 基準
	災害対策訓練実施回数	回	4	4	100.0%	4	5	↗



< 特記事項 >

経営計画策定後の新規事業

(1) 次世代半導体関連工事事業

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計	令和 6 年度実績値	
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
美々地区外水道整備事業	1,392,127	1,186,316	524,436	1,000,339
美々地区消火栓設置工事	143,197	111,716	111,716	111,716
＜事業概要＞ 次世代半導体製造工場の建設に係る管路の新設及び消火栓設置工事を実施する。			令和 6 年度の主な取組内容 ・管路の新設	
事業期間	水道整備：令和 5 年度～令和 7 年度 消火栓　：令和 6 年度～令和 9 年度			
進捗状況	・水道整備事業のうち、管敷設工事は令和 6 年度に完了し、舗装復旧工事は令和 7 年 6 月に完了した。 消火栓設置工事は、令和 6 年度に全 11 基中 9 基について整備済みであり、残り 2 基は令和 8 年度又は令和 9 年度に実施する予定である。（企画部次世代半導体拠点推進室からの依頼により決定）			

【戦略2】 組織・人材戦略

組織・人材戦略に掲げた施策の取組状況については、退職した技術職員を再任用職員として引き続き任用することで、これまで培ってきた技術やノウハウの継承を図るとともに、業務の効率性や技術力における低下の抑制に努めました。

また、職員を積極的に各種研修へ派遣することで、実務知識の習得や技術の研鑽に努め、専門的知識や技術力の向上を図りました。

水道局では毎年全職員を対象とした職場研修を実施しており、令和6年度は、カスタマーハラスメントによる職場環境の悪化や通常業務への支障を抑制するための取組として「ハラスメントについて」をテーマに、相手の意に反する行為によって不快な感情を抱かせるハラスメントについて、「千歳市職員のハラスメント防止等に関する要綱」などを参考に基本的な内容を学び直し、理不尽な要求や悪質なクレームを突き付けるカスタマーハラスメントについての内容とその対策について研修を実施しました。

（1）安定した水道サービスを提供するための職員態勢の確立

単位：人

区 分	平成 11	平成 15	平成 20	平成 25	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
職員数	4 3	3 3	2 9	2 3	2 2	2 4	2 3	2 1	2 2 (1)	2 2 (1)	2 2 (1)

※（ ）は再任用職員の外数

（各年度末現在）

（2）広域連携の推進

北海道は、水道の基盤強化に向けた取組の一つとして、令和5年3月に策定した「北海道広域連携推進プラン」について、今後の地域における広域連携の検討を資するため、内容の説明や広域連携に係る情報提供を行う勉強会を開催しました。

本市においても、その勉強会に参加し、「北海道広域連携推進プラン」の内容理解や広域連携等に係る情報共有を図りました。

また、恵庭市との意見交換会や技術講習会は、千歳市水道局庁舎にて、「水道料金の基本料金への算定費用について」・「管路更新の優先順位について」などをテーマに開催し、総勢30名が参加したほか、日頃より情報交換を行うなど、連携を図っています。

(3) 職員の技術力向上

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計		
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
水道事業を支える人材育成業務	1 3,5 9 0	2,6 3 5	1,5 2 7	1,3 2 2
＜事業概要＞ 水道技術職員は、一定数を維持しているが、今後、職員数の減少のほかに、技術を有した職員の退職などにより、業務の効率性及び技術力の低下が懸念されることから、人的資源確保のための職員の教育を行う。			令和 6 年度の主な取組内容 ・研修会等に係る参加費及び旅費	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・研修会等には、研修会等の開催地が北海道外の場合があることから、各年度の実績値には差が生じているが、職員を毎年参加させ、業務効率性及び技術力の維持に努めている。			

【戦略3】 広報戦略

広報戦略に掲げた施策の取組状況については、水道事業 PR 推進事業の一環として、6 月 1 日から 6 月 7 日までの「水道週間」に併せて、懸垂幕の設置やのぼりを立てるなど広報活動を重点的に行うとともに、水道事業クイズを実施しました。

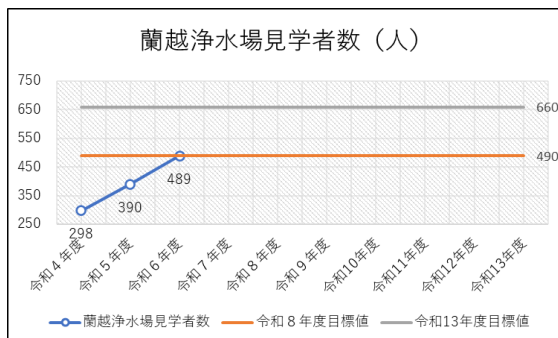
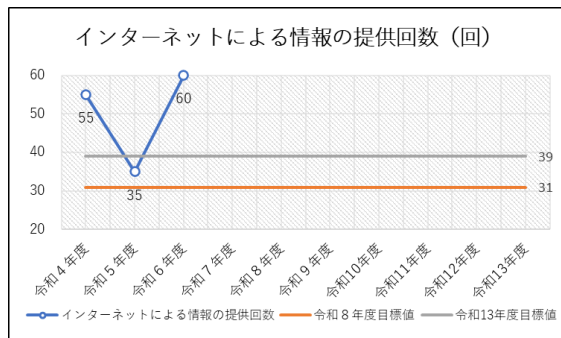
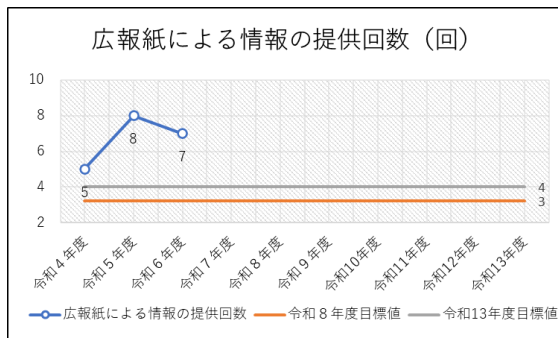
また、8 月 1 日の「水の日」に併せて、市民 20 名の参加による水道・下水道施設見学バスツアーを開催したほか、水道局職員による自主制作動画第 5 弾として、防災や災害対応に関する水道局の取組をわかりやすくまとめた「もしも大地震が起きたら」を作成し、本市の上下水道事業の理解促進を図りました。

水道の凍結情報や水道メーターの取り替え、事業に関するお知らせはホームページに加え、「広報ちとせ」や公式 SNS を活用し、積極的な情報提供を行っています。

(1) 情報発信の充実

関連指標	指標名	単位	令和 2 年実績値	令和 6 年実績値①	令和 8 までの目標達成率 (①/②*100)	令和 8 年目標値②	令和 13 年目標値	達成基準
	広報紙による情報の提供回数	回	2.2	7	218.8%	3.2	4.0	↗
	インターネットによる情報の提供回数	回	30	60	193.5%	31	39	↗
	蘭越浄水場見学者数	人	0	489	99.8%	490	660	↗

情報発信の推移



（２）情報提供のための「水道情報館」の活用

蘭越浄水場管理棟の１階にある水道情報館は令和６年４月２７日（土）から令和６年１１月１５日（金）まで開館し、蘭越浄水場の仕組みなどについて情報提供を行ったほか、水道に関するチラシの設置や水道週間のポスターを掲示するなど、市民の理解と関心を図りました。



（３）水道サービスの充実

インターネットによる給水の申込みや、水道局内の料金センター窓口のほか金融機関、コンビニエンスストア及び各支所における料金等の収納に加え、クレジットカードやスマートフォンアプリを利用した電子決済サービスなど、利用者サービスを継続して行いました。

3. 投資試算について

(1) 水道施設更新事業

①施設（機械設備更新）

(単位：千円)

投資施設	総事業費	事業費累計		
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
機械設備更新	4 7 1,1 8 4	1 2 6,5 3 3	6,5 0 0	8 9,8 5 9
＜事業概要＞ ポンプ、攪拌機、薬品貯留槽、除塵機、電動弁等の更新			令和 6 年度の主な取組内容 東千歳送水ポンプ・黒沢増圧ポンプ更新	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・人件費や原材料費の高騰による事業費の増加が原因で、令和 4 年～令和 6 年の 3 年間での実績値が計画値を上回っているが、令和 6 年度に計画していた蘭越浄水場の薬液注入ポンプ設備の更新（計画値 6,500 千円）が令和 7 年度以降の実施に変更となっている。			

※令和 6 年度に実施が必要となった工事・委託業務の精査により、予算額が 104,500 千円、実績値が 89,859 千円となり大きく計画値を上回ることとなりました。

①施設（電気・計装設備更新）

(単位：千円)

投資施設	総事業費	事業費累計		
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
電気・計装設備更新	1,067,248	173,987	125,150	49,687
<事業概要> 計器類、受変電・動力制御盤、監視装置、非常用時価発電装置等の更新			令和 6 年度の主な取組内容 水位計更新（7 台）	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・人件費や原材料費の高騰による事業費の増加と蘭越送水管更新工事の想定以上の工事費増加により、当初計画していた蘭越浄水場の薬液注入ポンプ盤や管理本館の電源装置盤の更新、泉沢送水ポンプ場の操作盤の更新など（計画値 81,300 千円）が令和 7 年度以降の実施に変更となっている。			

※令和 6 年度に必要な事業の精査により、予算額が 97,306 千円となり計画値を大きく下回ることとなりました。

②管路（蘭越送水管更新）

（単位：千円）

投資施設	総事業費	事業費累計	令和 6 年度実績値	
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
蘭越送水管更新	3 3 3,1 3 5	4 0 4,1 6 9	2 9,8 2 1	4,5 4 3
<事業概要> Φ700（既存 Φ800 をダウンサイジング）L=169m			令和 6 年度の主な取組内容 植 生 吹 付 A = 290 m ² 、 フ ェ ン ス 設 置 L=5.4m	
事業期間	令和 4 年度～令和 6 年度			
進捗状況	・重要給水施設配水管の工事との兼ね合いより、一部既設送水管の撤去を令和 8 年度に先送りしている。			

※令和 6 年度に必要な事業の精査（既設管の撤去工事を見送った）により、予算額が 6,512 千円となり計画値を大きく下回ることとなりました。

（2）重要給水施設配水管整備事業

（単位：千円）

投資施設	総事業費	事業費累計	令和 6 年度実績値	
			うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
重要給水施設配水管	3,272,407	993,469	378,595	299,002
< 事業概要 > Φ50～400 L=16,940m			令和 6 年度の主な取組内容 Φ75～400 L=659.49m	
事業期間	令和 4 年度～令和 13 年度			
進捗状況	・ 令和 6 年度実績で目標値 73.7%に対し、実績 75.8%を達成できており順調に進んでいるが、人件費や原材料費の高騰、週休 2 日制の導入等により、工事費が顕著に増加し続けていることから、次年度以降も事業費の増加が想定される。			

(3) その他事業

①小管網整備

(単位：千円)

投資施設	総事業費	事業費累計	令和6年度実績値	
			うち令和6年度計画値	うち令和6年度実績値
小管網整備	253,000	68,417	25,000	26,375
<事業概要> 全面道路水道管未整備箇所（Φ50～100）			令和6年度の主な取組内容	
			Φ50 L=240.07m、Φ75 L=82.74m Φ100 L=2.34m	
事業期間	令和4年度～令和13年度			
進捗状況	・冬期施工を避けるため7月末を受付期限にしており、年間3件程度実施している。人件費や原材料費の高騰、週休2日制の導入等により、工事費が顕著に増加し続けていることから、次年度以降も事業費の増加が想定される。			

(4) 次世代半導体関連工事事業(経営計画策定後の新規事業)

①次世代半導体関連工事事業

(単位：千円)

事業名	総事業費	事業費累計	うち令和 6 年度計画値	うち令和 6 年度実績値
美々地区外水道整備事業	1,392,127	1,186,316	524,436	1,000,339
美々地区消火栓設置工事	143,197		117,716	111,716
<事業概要> 次世代半導体製造工場の建設に係る管路の新設及び消火栓設置工事を 実施する。			令和 6 年度の主な取組内容 ・管路の新設	
事業期間	水道整備：令和 5 年度～令和 7 年度 消火栓 ：令和 6 年度～令和 9 年度			
進捗状況	・水道整備事業のうち、管敷設工事は令和 6 年度に完了し、舗装復旧工事は令和 7 年 6 月に完了した。 消火栓設置工事は、令和 6 年度に全 11 基中 9 基について整備済みであり、残り 2 基は令和 8 年度か 9 年度に実施する予定である。（企画部次世代半導体拠点推進室からの依頼により決定）			

【水道施設の投資試算】

事業名称	係名	全 体 (経費計画価)	全 体 (事業費累計)	R4 決算	R5 決算	R6		R7 計画	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画
						計画	増減 (決算-計画)							
■投資額 (R4～R13)	—	7,328,240	1,890,371	680,768	705,256	669,516	504,347	612,128	643,579	682,298	641,686	622,307	1,002,318	1,016,678
	■施設建設費	—	1,937,214	335,830	185,790	10,494	206,650	202,950	266,400	121,950	105,500	64,150	416,045	288,554
	■水道施設更新事業（施設）	—	1,937,214	335,830	185,790	10,494	206,650	202,950	266,400	121,950	105,500	64,150	416,045	288,554
	・建物更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・土木構造物更新	53,004	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,004
	・施設設備更新	684,584	126,533	26,180	10,494	6,500	89,859	59,800	110,900	20,400	1,400	31,100	285,345	73,800
	・電気・計装設備更新	1,067,248	173,987	124,300	0	125,150	49,887	142,750	155,000	101,550	104,100	33,050	130,700	161,750
	・その他（水道施設台帳電子化、漏水対策）	132,378	35,310	35,310	0	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	・機器等外場漏水対策	106,440	10,560	10,560	0	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	・水道施設台帳電子化	25,938	24,750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	■増補改良費	5,242,634	1,532,321	494,978	691,385	458,416	345,958	392,578	372,729	512,498	513,436	557,157	571,273	726,124
	■水道施設更新事業（管路）	1,970,227	538,852	78,969	412,927	79,821	46,956	50,000	95,289	207,342	205,813	246,934	274,898	423,474
	・導水管	212,715	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,870	66,684	107,161
	・送水管	333,135	404,169	27,500	372,126	29,821	4,543	0	0	0	0	0	0	0
	・配水管（φ350以上）	111,739	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・配水管（φ300以下）	782,996	19,624	19,624	0	0	0	0	5,289	152,342	150,813	153,064	151,443	151,345
	・小管槽整備	253,000	68,417	16,720	25,322	25,000	26,375	1,375	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	・市内用火栓	141,642	46,642	15,125	15,479	14,000	16,038	2,038	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	・水道工事係	135,000	0	0	0	11,000	0	0	11,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
	■重要給水施設配水管等整備事業	3,272,407	993,469	416,009	278,468	378,595	299,002	342,578	317,440	305,156	307,623	310,223	296,375	302,650
	・重要給水施設配水管（市内64箇所）	3,272,407	993,469	416,009	278,468	378,595	299,002	342,578	317,440	305,156	307,623	310,223	296,375	302,650
	■簡易水道施設費	148,392	22,220	0	3,377	4,450	18,843	14,393	17,000	4,850	22,750	1,000	15,000	2,000
	■水道施設更新事業（施設）	148,392	22,220	0	3,377	4,450	18,843	14,393	17,000	4,850	22,750	1,000	15,000	2,000
	・建物更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・土木構造物更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・機械設備更新	17,500	3,377	0	3,377	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0
	・電気・計装設備更新	130,892	18,843	0	0	4,450	18,843	14,393	17,000	4,450	22,750	1,000	0	2,000
	■水道施設更新事業（管路）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・導水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・配水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・水道工事係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■投資額 (R5～R7)	—	1,392,127	1,186,316	185,977	185,977	524,436	1,000,339	475,903	311,993					
	■増補改良費	1,392,127	1,186,316	185,977	185,977	524,436	1,000,339	475,903	311,993					
	■水道施設整備事業（管路）	1,392,127	1,186,316	185,977	185,977	524,436	1,000,339	475,903	311,993					
	・配水管（φ450）	1,392,127	1,186,316	185,977	185,977	524,436	1,000,339	475,903	311,993					
■投資額 (R5～R7)	—	143,197	111,716	0	111,716	111,716	0	0	31,481					
	■増補改良費	143,197	111,716	0	111,716	111,716	0	0	31,481					
	■水道施設整備事業（管路）	143,197	111,716	0	111,716	111,716	0	0	31,481					
	・東ノ地区消防栓設置工事（消防栓11基）	143,197	111,716	0	111,716	111,716	0	0	31,481					

(1) 收益的收支

16

(2) 資本の収支

区 分		年 度	(単位：千円)																
			令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	計画①	令和6年度 決算②	増減②-①	主な増減理由	令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画	令和10年度 計画	令和11年度 計画	令和12年度 計画	令和13年度 計画	
資本的収入			(A)																
1. 企業債			412,787	526,534	359,253	426,720	816,870	423,040	1,431,869	1,008,829		537,667	485,092	478,967	577,185	565,510	694,329	802,407	
うち資本費平準化債			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
2. 工事負担金			13,027	13,850	13,665	15,950	16,324	14,764	134,722	119,958		14,764	14,764	14,764	14,764	14,764	14,764	14,764	
3. 他会計出資金			3,860	4,969	5,061	5,443	8,298	6,123	8,900	2,777		6,224	8,029	8,132	8,443	11,032	11,205	11,748	
4. 施設補償金			0	12,415	4,385	13,270	0	6,165	0	-6,165		4,110	4,110	4,110	4,110	4,110	4,110	4,110	4,205
5. 国（都道府県）補助金			0	0	75,442	102,857	65,899	77,988	49,047	-28,941		70,569	65,389	62,861	63,368	63,904	61,050	51,090	
6. その他			0	0	0	0	45,049	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
(A) のうち翌年度へ繰り越 される支出の財源充当額			(B)																
純計 (A) - (B)			(C)																
資本的支出			(D)																
1. 建設改良費			474,394	620,151	543,132	740,222	966,233	865,480	1,689,496	824,016	次世代半導体製造工場築造事業に伴う増	733,862	666,094	755,609	695,822	687,267	1,078,122	1,093,341	
うち職員給与費			56,908	58,095	58,117	57,074	71,920	67,860	78,765	10,905		68,630	69,411	70,208	71,021	71,846	72,689	73,548	
2. 企業価値還元金			442,616	480,490	496,661	505,129	515,167	457,722	471,270	13,548		454,023	427,735	392,729	360,591	358,453	333,470	333,493	
3. 資産購入費			25,908	15,605	15,524	32,368	14,583	17,051	21,479	4,428		17,135	17,051	17,098	17,051	24,689	17,051	17,098	
4. その他			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D) - (C)			(E)																
補填財源			(F)																
1. 損益剰余金			493,106	541,692	651,072	612,873	533,507	861,313	559,682	-301,631		594,253	374,488	491,069	277,479	286,699	549,014	466,925	
2. 利益剰余金処分額			0	0	9,700	186,200	75,800	20,900	62,200	41,300		43,100	226,300	170,400	195,800	188,200	165,300	149,600	
3. その他			37,025	48,020	35,292	51,926	69,806	35,000	128,494	93,494		30,000	25,000	25,000	23,000	30,000	20,000	25,000	
補填財源不足額 (E) - (F)			(G)																
他会計借入金残高			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
企業債残高			(H)																
内部留保資金			993,518	1,145,113	1,075,655	834,264	805,065	435,766	435,766	0		463,758	553,502	580,705	777,762	970,345	923,999	981,591	
実績値反映			993,518	1,145,113	1,075,655	834,264	805,065	633,678	785,016	151,338		661,670	751,414	778,617	975,674	1,168,257	1,121,912	1,179,504	

【他会計負担金】

区 分		年 度		(単位：千円)																
				令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算②	令和5年度 決算②	計画①	令和6年度 決算②	増減②-①	主な増減理由	令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画	令和10年度 計画	令和11年度 計画	令和12年度 計画	令和13年度 計画	
収益的収支分		145,452	125,236	60,245	26,748	28,155	33,061	26,691	-6,370		33,347	38,552	43,082	33,522	51,795	48,100	45,765			
うち基準内繰入金		9,167	8,731	9,170	11,034	11,288	9,980	12,035	2,055		9,980	9,980	9,980	9,980	9,980	9,980	10,156			
うち基準外繰入金		136,285	116,505	51,075	15,714	16,867	23,081	14,656	-8,425	簡易水道に係る維持管理費の減	23,367	28,572	33,102	23,542	41,815	38,120	35,609			
資本的収支分		3,860	4,969	5,061	5,443	53,347	6,123	8,900	2,777		6,224	8,029	8,132	8,443	11,032	11,205	11,748			
うち基準内繰入金		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			
うち基準外繰入金		3,860	4,969	5,061	5,443	53,347	6,123	8,900	2,777		6,224	8,029	8,132	8,443	11,032	11,205	11,748			
計		149,312	130,205	65,306	32,191	81,502	39,184	35,591	-3,593		39,571	46,581	51,214	41,965	62,827	59,305	57,513			
うち基準内繰入金		9,167	8,731	9,170	11,034	11,288	9,980	12,035	2,055		9,980	9,980	9,980	9,980	9,980	9,980	10,156			
うち基準外繰入金		140,145	121,474	56,136	21,157	70,214	29,204	23,556	-5,648		29,591	36,601	41,234	31,985	52,847	49,325	47,357			

5. 総括

令和6年度は、計画に定めた施策の進捗としては、遅れが生じている状況となっています。

経営面では、収入については、令和6年度に予定していた水道料金の引上げを見送ったことなどの影響から計画値を下回り、支出については、修繕費などの増加により、計画値を上回る結果となりました。経常損益は、112,366千円の黒字を計上できていますが、計画値を下回っています。

各施策における取組状況は、「老朽化施設の重要度・優先度を踏まえた施設更新」、「水道施設の適切な維持管理」、「重要給水施設への配水の確保」、「水道施設の強靱化」の事業で、人件費や原材料費の高騰による事業費・委託費・修繕費の増加により、予定していた事業量が実施できていないため、遅れが生じています。

人件費や原材料費は、今後も増加していくことが予想されることから、これらの費用が高騰した状態で、予定していた事業量を実施すると今後の経営に大きな影響を与えることが懸念されます。

事業実施の優先度・緊急度を精査しながら、経営計画に記載した各事業を実施していきますが、本計画の見直しが必要であると言えます。

本計画の策定時の状況と現在の経済状況や企業立地状況が大きく異なること、令和6年度の水道料金改定の未実施による計画と実績値に大幅な乖離が生じていることから、本計画の改訂に着手し、水道供給の安定的な継続や持続可能な運営を行うための経営基盤の強化を図ります。

